

令和4年度 日吉地区社協主催

福祉講座 「大地震発生時の適切な行動を考えよう」

アンケート集計結果

参加人数 106人 講師 2人

アンケート回答人数 95人

※各項目について無回答あり

① 本日の講座はオンラインでの研修でしたが、いかがでしたか（複数可）

・参加しにくい（良くわからない）（ 3） ・普通（32）

・参加に便利（53） ・とても良い（13）

② 今後の福祉講座について（複数可）

・防災をシリーズ化してほしい（58）・他の講座を計画してほしい（30）

③ 本日の講座について

◎ 講習時間はどうですか

・長い（ 4） ・ちょうど良い（86） ・短い（ 1）

◎ 内容はどうですか

・分かりにくい（ 4） ・普通（38） ・とても良くわかった（47）

※（ ）内の数字は人数

研修についての意見・感想

① オンライン研修について

- ・音響の影響もあり周りの音で集中しにくい時がある
- ・質問、応答が出来ないのが欠点
- ・一方的でよくわからない
- ・防災について区役所のホームページでいつでも見られるようにしたら良いのではないか
- ・リモートは各会場とのつながりがあまり良くない
- ・講師の方が目の前でやっていただいた方が身になると思う
- ・オンライン研修ならば、防災担当の委員だけでなく地域の住民全員を対象に情報を提供したらどうか

② 今後の福祉講座について

- ・研修に参加している人のレベルが違うので、一部の人の参加であり（地域全体の）防災士を呼んで具体的な研修を継続的に行うことが必要
- ・防災の研修をより多くの人たちに知らせることが必要（地域防災拠点は集まった者が中心となり運営しなければならないことを一般の人に多く知ってもらう必要がある）
- ・参加者は一般の方の方が良いのではと思った
- ・時間を短く（30分程度）してシリーズ化したらどうか
- ・防災は大事だか何度も何度も聞いているので他の講座でお願いしたい
（あえて研修を持たなくても、皆を集めて行わなくても良いのではないか）
- ・防災キャラバンの出張講座などがあると良い
- ・研修は繰り返しが大切なのでシリーズ化すると良い
- ・福祉講座とはどんな内容なのかわからない

③ 本日の講座について

- ・（黄色の）パンフレットは内容がまとまって良いと思うのでもっと配布して欲しい
- ・資料のマップの字が小さすぎて読めない
- ・液状化マップを初めて見た
- ・資料の訂正（2011年は東日本大震災、2007年は中越地震）
- ・地域防災拠点が少ない（1ヶ所1000人の避難は現実には不可能）
- ・水害時の避難場所、日吉地区は無いに近い（前回の駒林小、地区センターではいったい何人の避難が可能なのか）
- ・具体的でわかりやすかった
- ・講師の新井田氏の市民憲章のお話がGOOD！
- ・映像を入れて欲しかった
- ・初めて聞く言葉が多くあってわかりにくかった

- ・ 今日の内容についてマンションの管理組合で共有し対策を検討したい
- ・ 基本的なことが良く分かった
- ・ 質問時間がなかったのはどうか
- ・ 防災に関することは広報によりある程度知れ渡っているので、広報活動の予算を出来るだけ避難所設備の備品確保にまわした方が良いと思う（例：モバイルバッテリーの保管、発電機など）

④ 質問事項

- ・ 地域防災拠点には何日（何人）の避難を想定しての備蓄があるのか（何日くらいで避難物資が届けられることを想定しているのか、ライフラインの復旧が前提か）
- ・ 運営委員会は男性だけの活動なのか
- ・ 元禄型地震の場合、小中学校では子どもの帰宅をどのようにすることにしているか
その基準や保護者の出迎え、出迎え不可能の場合の対応また子どもと地域防災拠点との関係はどうなっているか
- ・ 港北区の被害状況の想定をもっと詳しく（日吉地区では・要耐震の家屋はどのくらいか）
- ・ 防災拠点の収容人数についてもっと詳しく（1000人は1拠点なのか、地域合計なのか）
また1000人という基準は何か（※絶対に無理という意見もあり）
- ・ 収容する場所（備蓄庫）が限られている中、次々と運び込まれる物資の搬入がスムーズに行えるように学校と話し合えるよう区として前向きに調整していただけないか
- ・ 中学校、地区センターなどの公共施設は活用しないのか（避難所として？）

⑤ 今後、福祉講座に取り上げてほしい内容

- ・ 地域防災拠点（一時避難場所）を一般向けにもう少しやってほしい
- ・ ロコモシンドローム
- ・ 防災飯の作り方
- ・ 防災（水害時）の避難先情報
- ・ 大人の発達障害
- ・ 大雨の場合の避難場所
- ・ 子育て支援
- ・ 拠点で体調が悪い人の対応は
- ・ マンションの防災について
- ・ 港北区内の老人のみの家庭数・分布を資料とし、問題点や今後の対応を検討するなど
- ・ 高齢者の見守りについて
- ・ 個人の備蓄・災害で避難する際の護身など